



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable Administration REsearch center, University of Yamanashi

センターの概要

Overview of the DESIRE

センター長 鈴木猛康

Director Takeyasu Suzuki

mail to: takeysu@yamanashi.ac.jp



研究要旨 Abstract

当センターは、山梨県ならびに県内の市町村の災害対応能力の向上、地域コミュニティの防災力向上に寄与する研究開発を行っています。災害対策本部の運営、災害対応管理システムを用いた情報共有、地区防災などをテーマとし、国土交通省、自治体や地区住民と協働で取り組んでいます。

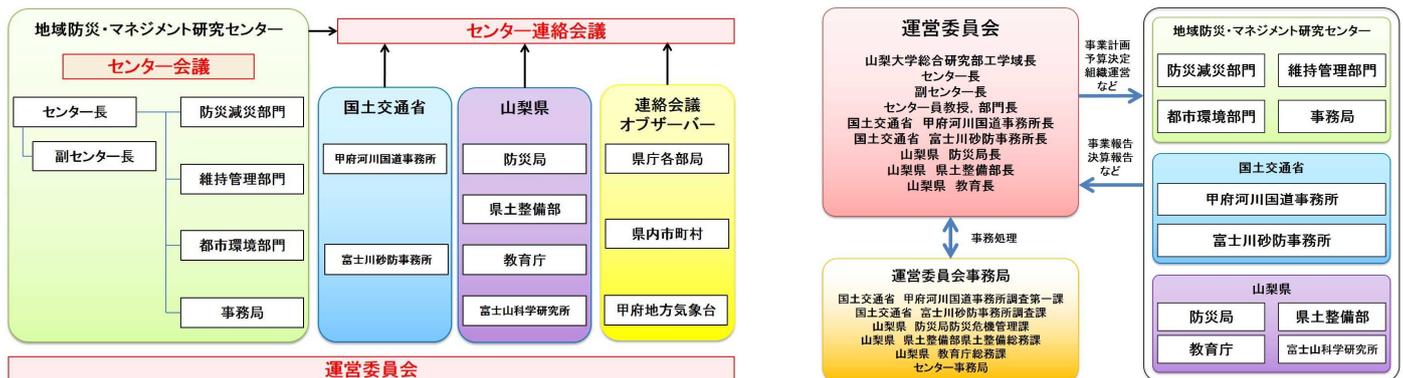
This center conducts research and development, in collaboration with the MLIT, Yamanashi prefecture, municipalities and community residents, that contributes to the improvement of disaster response capabilities of local governments and the improvement of disaster prevention capabilities of local communities.

センターの沿革

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、巨大な津波災害と原子力発電所事故に象徴される東日本大震災を発生させ、多くの尊い命と生活を奪いました。山梨県でも南海トラフの超巨大地震の発生がひっ迫している状況を鑑み、当センターは、山梨大学の研究者が山梨県内の防災関係機関と協力し、地域防災に貢献する組織として、2011年5月に設立されました。設立当初は工学部土木環境工学科附属の研究センターでしたが、防災リーダー養成講座開催、自治体や地域コミュニティの防災力向上活動等の実績が認められ、当センターは2016年10月に山梨大学大学院総合研究部（工学域）附属研究センターと位置づけられ、地域防災の研究拠点としての地位を確立しました。

センターの組織・運営委員会

当センターは3つの研究部門で構成されています。運営には国土交通省の地方事務所、山梨県の関係部局が加わって、センターは地域に根ざした防災・減災、地域マネジメントの研究拠点となっています。



センターの役割と活動内容

当センターは、地域防災ならびに地域マネジメントの分野で、研究を通して地域、すなわち山梨に貢献する地域に根ざした研究拠点です。そのため、センターでは、センター員と山梨県や県内市町村、国土交通省の事務所と連携した地域の課題解決型の基幹連携事業を行っています。毎年5件以上の基幹連携事業を実施し、その成果は5月開催のセンター報告会において、プレスリリースすることにより、県民に広く公開しています。基幹連携事業の他にも、センター員の多くは地域をフィールドにした課題解決型研究を実施しており、研究成果が地域に還元されています。

当センターの目指すところは、安全で強靱かつ持続性の高い地域へと、山梨県が継続的に発展することに寄与することです。SDGs (Sustainable Developing Goals)を常に見据え、地域をフィールドとした実践的な研究に取り組んでいきたいと思ひます